

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社
 コード番号 3799 URL <http://www.keyware.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八反田 博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室担当 (氏名) 矢光 重敏
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 03-5369-1118

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	15,665	—	△548	—	△595	—	△549	—
20年3月期第3四半期	13,597	14.2	137	△26.3	73	△32.6	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△60.31	—
20年3月期第3四半期	△2.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	12,091	7,421	7,421	814.64	61.4	814.64
20年3月期	11,615	8,175	8,175	897.43	70.4	897.43

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,421百万円 20年3月期 8,175百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	17.00	22.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,839	8.7	497	△52.4	454	△57.6	179	△70.4	19.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社クレヴァシステムズ) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 9,110,000株 20年3月期 9,110,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 30株 20年3月期 30株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 9,109,970株 20年3月期第3四半期 9,109,987株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、サブプライムローン問題を引きがねとして9月15日に米国大手の証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻した「リーマン・ショック」、11月に入るとトヨタが前年度の過去最高益から一転し上場来初の営業赤字となる決算予想を発表した「トヨタ・ショック」に加え、上場企業25社が倒産した建設・不動産部門の急激な業績悪化等によって、かつてない衝撃に見舞われました。また、企業業績の急激な悪化によって雇用・所得環境は一挙に悪化し消費を一層低迷させました。

情報サービス産業におきましては、売上高については、年初来8ヶ月連続で対前年同月比での増加が続いておりましたが、9月に入り9ヶ月ぶりに減少して以降、10、11月と3ヶ月連続で減少しております。一方、売上高全体の半分弱を占める「受注ソフトウェア」は、金融業、官公庁向けが牽引し、10、11月と連続で増加しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は15,665百万円、営業損益は548百万円の損失となりました。また連結受注高は、16,230百万円となりました。

主な事業区分別の実績は次のとおりであります。

a. システム開発事業

システム開発事業につきましては、売上高は8,425百万円、受注高は8,868百万円となりました。

売上高につきましては、航空宇宙系、メディア系案件は順調に推移したものの、官庁向け案件、金融業、ネットワーク監視業務向けシステム開発は不調に終わりました。

損益面では、引き続き開発の効率化、オフショア開発を進め、収益性とプロジェクト品質の確保に努めました。官庁系、社会インフラ系システム開発において損益悪化プロジェクトが発生いたしました。

b. 総合サービス事業

総合サービス事業につきましては、売上高は7,240百万円、受注高は7,361百万円となりました。

売上高の主な分野別状況につきましては、keyCOMPASS事業のうち自治体関連案件におきまして、来年度以降の税収落ち込みを見込んだ情報投資予算抑制による調達スケジュール変更の影響が出ております。ERP事業は、既存顧客向け案件が堅調に推移しております。自社開発のパッケージソフトを用いた医療関連、特許関連事業、HP UX関連のインフラ構築事業も堅調でした。

損益面では、前期に発生した運輸系の既存顧客向けの損益悪化プロジェクトは収束いたしました。ERP事業やインフラ構築事業においては既存顧客からの原価低減要求が一層厳しくなっているものの、目標の利益水準を確保いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、7,490百万円（前連結会計年度末比699百万円減、8.5%減）となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少ならびにたな卸資産の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、4,600百万円（同比1,175百万円増、34.3%増）となりました。主な増加要因はのれんの増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、4,654百万円（同比1,433百万円増、44.5%増）となりました。主な増加要因は、短期借入金金の増加であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、14百万円（同比203百万円減、93.1%減）となりました。主な減少要因は、長期借入金金の減少であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、7,421百万円（同比754百万円減、9.2%減）となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローは以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、987百万円（前連結会計年度末比 22百万円減、2.2%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失（733百万円）に加え、たな卸資産の増加（987百万円）、仕入債務の減少（452百万円）、法人税等の支払（389百万円）などがあったものの、売上債権の減少（2,923百万円）などにより475百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形及び無形固定資産の売却による収入（240百万円）などがあったものの、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出（309百万円）、子会社株式の取得（324百万円）などにより549百万円減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、長期借入金金の返済による支出（1,374百万円）などがあったものの、短期借入金金の純増額（1,425百万円）、長期借入れによる収入（200百万円）により50百万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成20年12月19日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございませんので、詳細は上記日付にて公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は平成20年4月1日付で株式会社クレヴァシステムズの株式を取得しました。これに伴い、株式会社クレヴァシステムズは当社の連結子会社(特定子会社)となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に关しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に关しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合においては、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。当第3四半期連結累計期間においては、経営環境等に著しい変化が認められたため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表作成に特有な会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が、16,790千円減少しております。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,065,048	1,009,702
受取手形及び売掛金	3,114,219	5,635,900
商品	73,136	19,972
仕掛品	2,298,397	1,292,964
その他	971,324	238,228
貸倒引当金	△31,675	△6,943
流動資産合計	7,490,452	8,189,824
固定資産		
有形固定資産	264,922	206,345
無形固定資産		
のれん	1,068,942	—
その他	245,898	209,233
無形固定資産合計	1,314,841	209,233
投資その他の資産		
投資有価証券	2,724,351	2,819,579
その他	311,494	202,058
貸倒引当金	△15,023	△11,704
投資その他の資産合計	3,020,822	3,009,933
固定資産合計	4,600,585	3,425,512
資産合計	12,091,038	11,615,337
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	951,331	1,312,160
短期借入金	2,325,300	800,000
1年内返済予定の長期借入金	263,250	200,000
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払法人税等	31,459	338,122
その他	983,363	571,358
流動負債合計	4,654,704	3,221,642
固定負債		
長期借入金	—	200,000
役員退職慰労引当金	11,710	13,740
その他	3,252	4,366
固定負債合計	14,962	218,106
負債合計	4,669,666	3,439,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	5,231,078	5,980,929
自己株式	△16	△16
株主資本合計	7,475,536	8,225,387
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△54,165	△49,798
評価・換算差額等合計	△54,165	△49,798
純資産合計	7,421,371	8,175,589
負債純資産合計	12,091,038	11,615,337

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	15,665,914
売上原価	13,291,502
売上総利益	2,374,412
販売費及び一般管理費	2,922,709
営業損失(△)	△548,296
営業外収益	
受取利息	5,635
受取配当金	2,580
持分法による投資利益	6,828
その他	14,289
営業外収益合計	29,334
営業外費用	
支払利息	36,307
支払手数料	32,941
その他	7,292
営業外費用合計	76,540
経常損失(△)	△595,503
特別利益	
固定資産売却益	15,218
貸倒引当金戻入額	14,901
受取保険金	18,903
特別利益合計	49,022
特別損失	
投資有価証券売却損	92,756
減損損失	10,337
その他	83,966
特別損失合計	187,060
税金等調整前四半期純損失(△)	△733,541
法人税等	△180,681
少数株主損失(△)	△3,428
四半期純損失(△)	△549,431

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△733,541
減価償却費	103,363
減損損失	10,337
のれん償却額	34,181
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,639
受取利息及び受取配当金	△8,216
支払利息	36,307
固定資産除却損	12,323
持分法による投資損益(△は益)	△6,828
売上債権の増減額(△は増加)	2,923,324
たな卸資産の増減額(△は増加)	△987,136
その他の資産の増減額(△は増加)	△424,277
仕入債務の増減額(△は減少)	△452,223
未払消費税等の増減額(△は減少)	△143,271
その他の負債の増減額(△は減少)	381,929
その他	136,266
小計	870,897
利息及び配当金の受取額	35,026
利息の支払額	△40,638
法人税等の支払額	△389,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△112,000
定期預金の払戻による収入	50,000
有形固定資産の取得による支出	△80,489
無形固定資産の取得による支出	△101,636
有形及び無形固定資産の売却による収入	240,904
投資有価証券の取得による支出	△30,000
投資有価証券の売却による収入	148,818
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△309,608
子会社株式の取得による支出	△324,100
貸付けによる支出	△8,000
貸付金の回収による収入	2,418
その他	△25,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△549,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,425,300
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△1,374,801
配当金の支払額	△199,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,653
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	987,048

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
I 売上高	13,597,767
II 売上原価	11,110,394
売上総利益	2,487,372
III 販売費及び一般管理費	2,349,484
営業利益	137,888
IV 営業外収益	44,330
V 営業外費用	108,839
経常利益	73,379
VI 特別利益	62,352
VII 特別損失	117,826
税金等調整前四半期純利益	17,905
税金費用	40,932
四半期純損失	23,026

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	17,905
2 減価償却費	97,422
3 売上債権の増減額	1,663,817
4 たな卸資産の増減額	△1,446,979
5 仕入債務の増減額	△252,099
6 その他	△528,293
小 計	△448,227
7 法人税等の支払額	△232,782
8 その他	22,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	△658,483
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△80,539
2 有形固定資産の売却による収入	434,080
3 無形固定資産の取得による支出	△62,788
4 投資有価証券の取得による支出	△553,407
5 投資有価証券の売却等による収入	86,956
6 その他	3,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,115
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	1,100,000
2 長期借入金の返済による支出	△500,000
3 配当金の支払額	△180,596
4 自己株式の取得による支出	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	419,386
IV 現金及び現金同等物の増減額	△411,213
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,225,995
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	814,782

6. その他の情報

受注及び販売の状況

(1) 受注実績

当第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結会計期間における受注実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	受注残高(千円)
	受注高(千円)	受注高(千円)	
システム開発事業	8,868,374	2,526,728	3,471,839
総合サービス事業	7,361,723	2,087,386	3,404,857
合計	16,230,097	4,614,114	6,876,697

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
	販売高(千円)	構成比(%)	販売高(千円)	構成比(%)
システム開発事業	8,425,671	53.8	2,459,027	53.2
総合サービス事業	7,240,242	46.2	2,165,976	46.8
合計	15,665,914	100.0	4,625,004	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。